

第 21 回 東京湾シンポジウム
～環境の価値や影響を定量的に評価する～

沿岸域の環境は、人の健康および水質や生物などの生態系に加えて、最近では、生態系サービスも着目されています。また、地球温暖化に伴い CO₂ も新たな評価軸になりつつあります。今後、益々変化する社会環境・自然環境に対応し、沿岸域をより豊かな場所にするためには、新しい考え方を積極的に取り入れていく必要があります。そこで、環境の価値を評価する手法について多方面から紹介して頂きます。また、近年の東京湾等における、魚介類がなかなか回復しない問題に関しても紹介して頂きます。

■日時：2021 年 10 月 15 日（金） 13 時 30 分～16 時 45 分

■形式：オンライン（ZOOM ウェビナー）

■プログラム

- 13 時 30 分 - 13 時 35 分 開会挨拶 国土技術政策総合研究所 副所長 坂 克人
- 13 時 35 分 - 13 時 50 分 趣旨説明+沿岸域の環境価値
国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室長
岡田 知也
- 13 時 50 分 - 14 時 20 分 ブルーエコノミーの議論における沿岸域の重要性と課題：ブルーカーボンを例に
笹川平和財団海洋政策研究所 主任研究員
(ジャパンプルーエコノミー技術研究組合理事)
渡邊 敦
- 14 時 20 分 - 14 時 50 分 ライフサイクルの視点に立った気候変動と自然資本の評価と活用
東京都市大学 環境学部環境経営システム学科 教授
伊坪 徳宏
- (休憩 10 分)
- 15 時 00 分 - 15 時 30 分 新国富指標を用いた新たな評価体系
九州大学工学研究院 教授・都市研究センター長
馬奈木 俊介
- 15 時 30 分 - 16 時 00 分 海の栄養塩削減で有機物の質が変わる
京都大学 名誉教授
藤原 建紀
- (休憩 10 分)
- 16 時 10 分 - 16 時 40 分 総合討論
- 16 時 40 分 - 16 時 45 分 閉会挨拶
国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部長 森木 亮

主 催 : 国土交通省 国土技術政策総合研究所
後 援 : 東京湾再生官民連携フォーラム, 東京湾の環境をよくするために行動する会
お問い合わせ : 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室 TEL : 046-844-5023
=====国総研が 20 周年を迎えました=====
20 年の活動をまとめた、「国総研 20 年史」はコチラから
http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/20nenshi/index_20years.htm